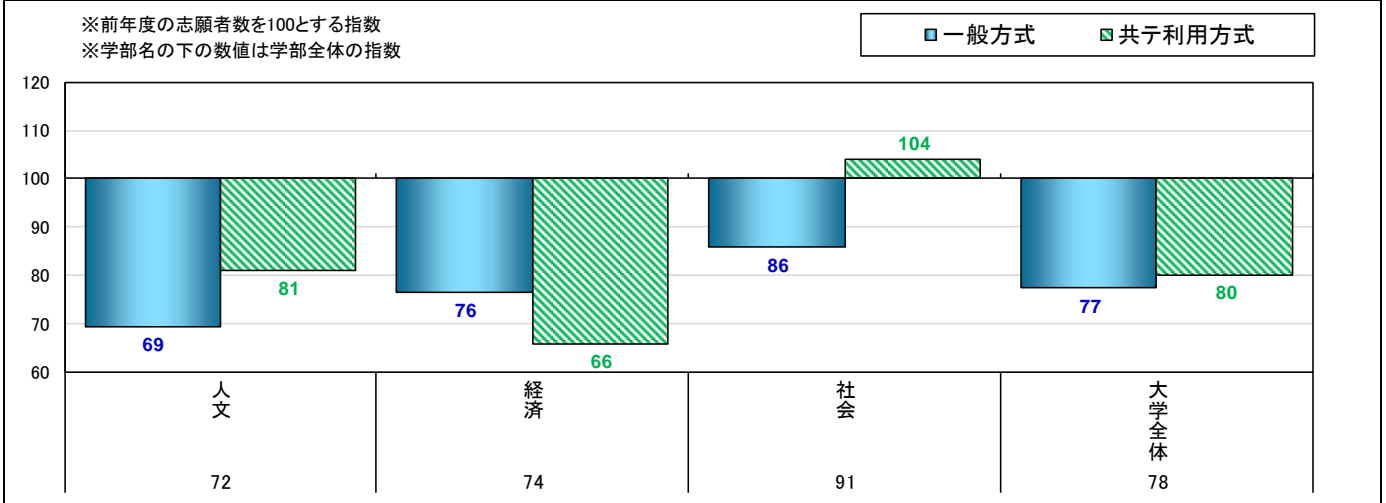


2021 年度入試状況分析【私立大】

武蔵大：大学全体では2年連続減少、人文、経済が大幅減少 一般：-3,174人 共テ：-967人



入試変更点 募集人員：社会(社会)…<一般・個別>55人→50人
(メディア社会)…<一般・個別>50人→45人
入試科目：経済(金融)…<共テ・前期3科目>外+(国 or 歴公 or 数 or 理)→国+外+(歴公 or 数 or 理)

COMMENT ※()内の数値は志願者数の前年度対比指数、なお共通テスト利用方式はセンター試験利用方式との比較

大学全体では、4,141人(78)の大幅減少で、前年度の微減に引続き2年連続減少。文系への人気低下も影響し、志願者数は2016年度以来15,000人を下回った。学部別では、3学部全てが減少。方式別では、一般方式(77)、共通テスト利用方式(80)ともに大幅減少。

<一般方式>

- 人文(69)は、3年連続増加の反動で大幅減少。学科別では、(ヨーロッパ文化)(65)、(日本・東アジア文化)(70)、(英語英米文化)(73)で、いずれも3年連続増加の反動で大幅減少。方式別でも、すべての方式で大幅減少。
- 経済(76)は、2年連続増加の反動で大幅減少。学科別では、(金融)(72)は3年連続増加の反動で大幅減少、(経営)(77)は2年連続増加の反動で大幅減少、(経済)(80)は2年連続減少。募集単位別も、全ての方式で減少し、特に(金融)<全学グローバル>(59)は、40%以上の大幅減少。
- 社会(86)は、系統への人気低下もあり、減少で、3年連続減少。学科別では、(社会)(80)が大幅減少、(メディア社会)(92)が減少で、いずれも3年連続減少。募集単位別では、(メディア社会)<個別>(119)が唯一増加、募集人員(前年度募集人員対比指数90)が減少した影響も加わり、志願倍率も14.9倍→19.7倍へとアップ。(社会)<個別>(91)は減少だが、募集人員(前年度募集人員対比指数91)も減少したことで、志願倍率は14.4倍→14.5倍へわずかにアップ。

<共通テスト利用方式>

- 人文(81)は、大幅減少で2年連続減少。志願者数は1,000人を下回った。学科別では、(ヨーロッパ文化)(74)、(英語英米文化)(82)は、大幅減少、(日本・東アジア文化)(90)は減少。募集単位別では、(ヨーロッパ文化)<後期>(108)は、3年連続減少の反動で増加、(英語英米文化)<後期>(103)は、前年度大幅減少の反動でやや増加、その他は、全て減少。
- 経済(66)は、大幅減少。学科別では、(経営)(113)は、前年度大幅減少の反動で増加。一方で、(金融)(38)は激減、(経済)(53)は大幅減少で、いずれも前年度増加の反動。募集単位別では、必須科目に国語が追加となった(金融)<前期>(28)が、70%以上の激減。
- 社会(104)は、2年連続減少の反動でやや増加。学科別では、(社会)(110)は、前年度大幅減少の反動で増加、(メディア社会)(97)はやや減少で、3年連続減少。募集単位別では、(メディア社会)<後期>(155)、(社会)<後期>(134)が大幅増加で、いずれも前年度60%以上激減の反動。